

国際社会学部
2026 年度後期日程入学試験問題
小論文
正解・配点・解答例（200 点満点）

設問1 〔30 点〕

【解答例】

少子高齢化による労働者不足の進行を背景に、日本政府は外国人労働者を求めてきた。だが他方で、彼らが日本で暮らしていくにあたって必要な公的な支援制度を整えず、短期間しか滞在させないようにしてきたこと。（98字）

設問2 〔50点：①20点、②10点、③20点〕

【解答例】

- ① こ（れら）の単語は、「失踪する」「消える」という意味を持ち、雇用主、監督機関、国家の立場から、技能実習生の行為を不可解かつ非合理的なものともみなし、彼らの責任に帰す含意がある。（87字）
- ② Evacuating（fleeing、runaway、leaving、returnなどは、5点に減点）
- ③ この単語は、「避難する」という意味を持ち、技能実習生や支援者の立場から、危険や搾取的な構造に置かれた人々がそこから逃れるのは正当であり、合理的であることを含意している。（84字）

設問3 〔60点：①20点、②20点、③20点〕

【解答例】

- ① 賃金の停滞や不平等への不満という経済的要因のもと、下位中間層の労働者を中心に、政府が納税者の「日本人」よりも「外国人」を優先しているとの認識が生じたから。また文化的にも、「外国人」に日本が奪われるのではないかという不安が広がったため。（117字）

賃金の停滞や不平等への不満という経済的要因のもとで、強硬な反移民の政策を掲げる政党が支持を広げ、「外国人」が社会問題化されると同時に、「外国人政策」が選挙の争点となったことで、外国人に対する文化面での不安や被害者意識が広がったため。（116字）

- ② 外国籍者による犯罪件数が減る一方で、「外国人」による犯罪への懸念が広がっている。この現象が生じたのは、経済的な不安や「外国人」への不安をあおる政治家やメディアによって、過剰な恐怖や怒りが高まったからである。（103字）
- ③ 在日外国人や多様なルーツをもつ人は、日本で生まれたり、生活したり、働いて納税したりしているにもかかわらず、安全な居場所を失うのではないかと不安を抱いている。その理由は、一部のメディアや政治家らが「危険な外国人」という偏見を拡散しているため。（120字）

設問4〔60点〕

【解答例】

労働人口が減少するなか、日本政府は、明確な移民政策をとらず、国民に十分な説明をしないまま、外国人労働者の受け入れを既成事実化してきた。権利保障と社会統合の制度が不十分な中で、外国人労働者は、時に人権侵害も受けながら、不安定な就労と生活を強いられている。他方、経済的な停滞と不安定に晒された日本社会の多数派が、メディアや政党による「外国人」のスティグマ化に賛同し、在日外国人や多様なルーツを持つ人々の人権状況を悪化させている。

この問題を改善するためには、まず労働者不足の現状と外国人労働者の受け入れをめぐって、政府が説明責任を果たし、正しい情報を共有し、開かれた議論の場を設けることが必要である。そして、外国人労働者の受け入れが必要だとの広範な合意に至るのであれば、彼らの権利と社会統合を保障する移民政策を立てるべきである。次に、すべての人々に対する福祉拡充と権利保障を進めることが不可欠である。そうすることで、外国人労働者や多様なルーツを持つ人々の人権を保障すると同時に、日本社会の多数派が経済的・社会的な安定を享受し、自らの不安を「外国人」への敵意に転化するのを抑制していくことが期待できる。(497字)